

## 2011 北斗旗全日本空道無差別選手権大会開催のお知らせ

一般社団法人全日本空道連盟 大道塾

(社)全日本空道連盟は 11 月 12 日(土)国立代々木競技場第二体育館にて「2011 北斗旗全日本空道無差別選手権大会」を開催します。

世界大会前の 2 年間の全日本大会は選手選考を兼ねて「体力別」で行われるため、「無差別」としての実施は 4 年間に 2 回のみとなります。

「空道」は大道塾では「空道」を「武道スポーツ」として定義し、ルーツである「武士道」から護身の術だけではなく形式美(礼法、礼儀)、精神性(勇気、闘争心、克己心、「柔能制剛」、「弱(小)能制剛(強)」、有情など)、人間関係(責任感、信義、協調性、長幼の序など)と言った有形無形の価値を受け継ぐ「武道」としての面と、戦いの場での条件が五分で競われる「スポーツ」としての面の両面を備えているものと捉えています。

「体力別」はスポーツとしての面が強調され主に技術力の戦いになりますが、武道が護身術から始まったという原点を顧みれば、今回の「無差別選手権」は「体力差のある相手といかに戦うか?」という「柔能制剛」「弱(小)能制剛(強)」という視点から観戦する事も大きな要素、魅力の一つでしょう。これまでも小さな選手が大きな選手を鋭い技で倒し伝説となった数々の名勝負があります。

「第三回世界空道大会」-230 で準優勝し「第 1 回空道ワールドカップ」(モスクワ)では 3 位に輝いた中村知大、同大会では 4 位ながら、国内-230 クラスでは 2009 年以来 3 連覇し「2007 年無差別」では重量級の選手(-260)に延長戦で見事なダウンを奪い判定勝ち、三回戦で佐々木選手(-260)に 4-0 で判定勝ちし武道のロマンである「弱(小)能制剛(強)」「小よく大を制する)を見せてくれた平安孝行。

-240 で全日本連覇を 3 度制している田中俊輔と、2008 年春には勝って優勝したものその後 3 度負けているライバルの堀越亮祐。-260 で 2010 年、2011 年 2 連覇中の阿部和幸と、2006 年、2008 年と 2 度優勝の佐々木嗣治。

有名なプロ格闘家吉田秀彦選手に勝った総合格闘家中村和裕選手を破った勢いで「2010 年体力別 260+」で初優勝して以来「2010 年無差別優勝」、「2011 年 260+優勝」と国内では負けなしの加藤久輝。また 2008 年優勝で今年「2011 年体力別」ではその新鋭、加藤久輝と死闘を繰り広げ会場を沸かしたキーナン・マイク等々。今年も多士済々が出そろふ無差別！その栄冠は誰の手に？ご注目ください。

また「2013 第四回世界空道選手権大会」にて開催予定の「第一回世界空道ジュニア選手権大会」の代表選考の資料となる「2011 全日本空道ジュニア選手権大会」が併催となります。その澁刺とした試合と、明日の日本空道を背負って立つジュニア戦士を是非ご来場の皆様の目で発掘しご声援下さい！

### 【コメント】

(社)全日本空道連盟理事長、大道塾代表師範・塾長 東孝

「有難いことに多くのファンの皆様のご支援ご声援のお蔭で、「大道塾」も昨年設立 30 周年、「空道」も提唱 10 周年を無事済ませることが出来ました。そこでこれまでのご支援ご声援に感謝する意味で今年の無差別大会は、大道塾の 40 周年 50 周年へ向け、又、「空道」の新たなステージへの第一歩として、より多くの皆様に「空道」の未来を見て頂きたく、感謝の気持ちで入場料を無料とさせていただきます。どうか皆様、万障、お繰り合わせの上、是非ご来場ください。」

## 【大会概要】

大会名

2011 北斗旗全日本空道無差別選手権大会

2011 全日本空道ジュニア選抜選手権大会

会場

国立代々木競技場第二体育館

開催日

2011 年 11 月 12 日(土)開場 9:00

入場無料

主催

(社)全日本空道連盟

主管

大道塾総本部 電話 03-5953-1860

後援

文部科学省 東京都

※大会当日リリースとなる空道技術解説 DVD「21 世紀空道入門」(価格未定)にも出演の歴代北斗旗全日本王者数名による特別演武を予定しています。出演者につきましては下記 URL にて決定次第ご案内します。

「2011 北斗旗全日本空道無差別選手権大会」情報ページ(大道塾オフィシャルサイト内)

<http://www.daidojuku.com/home/2011/musa/info/>

※大会ポスターイメージにつきましては現在準備中です。

## 【問い合わせ窓口】

大会事務局(大道塾総本部) 電話 03-5953-1860

以上、よろしく申し上げます。

(2011.10.4 発行)